



私 の 点 訳 ラ イ フ

岡 寿恵子

点訳を始めて、ようやく2年が過ぎようとしております。きっかけと云えば、子供達を学校に送り出しましてから、家で何か、コツコツとやれるものは、何だろうと、あれこれ思いをめぐらしておりました時、小学生の娘が学校で、市の「あゆみの会」という、ガイドヘルパーの方のお話を聞かせてもらい、私にその活動のこととか、点字のことについて書かれた、1枚の紙を渡してくれたことからでした。その後、まもなく、コミュニティ誌のライトハウスの「点訳講習会オリエンテーションのお知らせ」が目にとまり、早速、応募したのです。講習会が始まり、みんなが、点字の1年生とばかり信じこんでいた私は、面喰らってしまいました。たいていの方が、ある程度、点字にたずさわった事のある方ばかり・・・。初めて手にした読みの練習では、簡単な熟語もちんぷんかんぷん。先生はさぞかし驚かれたことと思います。

初めての点訳書は、李恢成著「またふたたびの道」で、マスあけ、地名、韓国語の読み方など、色々失敗しながらも、1年少しかかって完成した時の喜びはひとしおでした。2冊目からはパソコンになりましたが、又々、頭の中と手の動きが混戦状態・・・。

この点訳通信で、何かと勉強させて頂いております。毎週1回のグループ校正では、超ベテランの方々に囲まれて、冷や汗のかきどおしですが、教えて頂く事も多く、有難く思っております。これからも、様々な分野の勉強をさせていただきながら、ゆっくりですが、ずっと続けていきたいと思っております。

(おか すえこ)

Q 行くは「イクと読んでみて不自然な場合のみ、ユクとする程度でよい」という判断の仕方はとてもあいまいで、どこまでが不自然なのか混乱してきます。行くは、口語でイク、複合語の行く末、行く手、行き交う、行方、行きずり、行き届くはユク、ユキと書くと習った覚えがありますが、それではいけませんか。

A おっしゃる通り「行く」は現代仮名遣いでは、“イク”ですので、点字でも原則として“イク”をとります。ただし複合語で“ユク・ユキ”と発音するものは“ユク・ユキ”と書きますが、最近は辞書でも両方の読み方をするものがふえてきました。必ず“ユク・ユキ”と発音するものと、どちらでもよいものを下記にあげておきます。

…必ず「ユク・ユキ」と読むもの

行方／行きずり／行く末／売行き／柄行き／雲行き／心行き／旅行き
成り行き／梁行き／道行き／御行／行長などの人名

…どちらでもよいもの

行き当たり／行き掛け／行き先／行きなし／行き倒れ／行き違い
行き詰まる／行き届く／行き止まり／先行き／空行き／余所行き

Q

てびきの県単位、表記辞典の万単位は切るようになっていますが、億単位はどう違いますか。

A

先月号の「億単位」のマスあけはミスプリントで、ご指摘の通り
オク◇タンイです。

点訳 Q & A

Q

波線についてお尋ねします。

2～3階の場合、2階と3階の間がありあませんから波線を使わず、数2数3ガイ としてはいけませんか。15～6世紀の場合はどうでしょう。

A

結論からいいますと、原本の通り波線を使って下さい。数2数3ガイ という書き表し方は、2階か3階かという凡その数をさしますので、意味が変わってきます。

15～6世紀の場合は、波線のあとの6は、あきらかに16を表すものですから10をおぎなつて、数15～数16セイキ として下さい。

その他、「2～30分」という書き方をされているものがありますが、これは数2数30プンと、して下さい。

投 稿

[おお原真い！]

新しく“難読漢字コーナー”を作ります。

どんな辞書で調べても読みのわからない語に出会ったことはありませんか？ “曲輪”（クルワ）“最中”（サナカ）“没義道”（モギドー）“為体”（テイタラク）など辞書にはたしかに出ているのですが、読み方がわからない限り引きようがなく、漢和辞典でも調べられません。こんな語は結構たくさんあると思います。そこで皆さんが点訳なさっておられる本の中で、そんな類いの語に気付かれたり、又ルビが振ってあるもので、ナルホドと思われたもの、校正で指摘されたりした語がありましたら、投書箱に入れていただけませんか。すこしずつでもこのコーナーにのせていき、ボランティア同士の情報交換に役立てたいと思います。

BASEのタイトルサーチ

「点訳通信」の前号で、BASEのタイトルサーチをするためのキー操作を説明しましたが、その内容に誤がありました。ご迷惑をおかけし、たいへん申し訳ありませんでした。

「タイトルサーチ」をする場合、「前方タイトルサーチ」、つまり現在位置から巻末に向かってサーチする場合は、「[SHIFT] キーを押しながら中カッコ（「」キー）を押します。また逆に、後方に向かってサーチする場合は、「[SHIFT] キーを押しながら中カッコ（」）とじのキー」を押します。

ついでとってはいけないのですが、「段落をサーチする」機能もありますのでご紹介しておきます。

現在位置から次の段落をサーチする場合は、「[CTRL] キーを押しながら左矢印キー（←）」、その逆に現在位置より一つ前の段落をサーチする場合は、「[CTRL] キーを押しながら右矢印キー（→）」です。これもなかなか便利な機能ですから、ぜひ活用して下さい。

2校校正表についてのお知らせとお願い

2校をお願いしているみなさん、いつも有り難うございます。

校正していただくにあたっては、迷われることや悩まれることも多いと思いますが、これからも引き続きよろしく願いいたします。

みなさんに作っていただいた校正表を元にデータを修正するわけですが、その作業をしながら私自身たいへん迷うことがよくあります。「これは間違いと言い切れるのかな?」「この書き方は、点訳された方の感覚を優先させてもいいのかな」「やはり2校の方の意見を採用した方がいいのかな」等などしょっちゅうです。

今までは、2校の方に作っていただいた校正表に、「採用しませんでした」という部分を示すために、赤い線を引いていましたが、今後、それに加えて青い線も使うことにしました。これは、「本来、あるいは厳密には指摘していただいた

通りなのでしょうが、今回は（あるいはこの本では）「点訳者優先としました」、又は、「わたし自身が迷っていて、一時保留としています」という意味です。

処理済みの校正表について、点訳された方も校正を担当された方も、それぞれにご意見やご質問があるかと思えます。それらご質問やご意見は、職員の森までお願いします。納得の行かないまま点訳や校正を続けていただきますと、無用な混乱もおこりますので、その都度ご相談下さい。

どなたかと校正中で、声をかけにくいということもあるかと思えますが、そのような時は時間の約束だけでもしますので、ご遠慮なく声をかけて下さい。

投 稿

辞書・事典の使い方

「賤の男」の賤はシズかシヅか？ そして「手綱」はタズナかタヅナか？

私達がいつも読み合わせをしている三階の書架に、「岩波国語辞典」と「広辞苑」が置いてあります。辞書によって「見出し語」の表記の仕方に違いがあると云う事を書くように云われましたので、これを機に、表題の語について、調べてみました。

岩波国語辞典	＋しづ [賤]	たづな [手綱]
広 辞 苑	しず シヅ [賤]	たず<づ>な タヅナ [手綱]

となっておりました。この「岩波国語辞典」の＋印と広辞苑の<づ>を見落として、「あった！見出し語がしづだからづだ。たずなだからづだ」と早合点してしまいがちですが、屹度見落とされた＋印と<づ>は、辞書を繰って下さった方々の美しい瞳に見つめられなくて、さぞやわが身の不運を嘆いていることでしょう。

各辞書には必ず「凡例」と云うものが記されてあります。これを読むと＋印や<づ>その他の記号等、見出し語の記載方法がわかります。まだお読みになっていらっしゃる方は是非ティータイムにでもお読みになってみて下さい。

扨て、＋印のナヅを解くために、岩波国語辞典の凡例を見ますと、4 ページ、見出しの項中に、以下のように書かれてあります。

イ・（略）

ロ・口語には+印を付け、見出しを歴史的かなづかいで示した。

これで+印の意味がわかりました。「賤」は古語なので、歴史的かなづかいで、+しづと書かれてあったのです。点訳は現代かなづかいで記するのが原則ですから、教科書など必要な時以外はシズとズを用います。

次に<づ>について、広辞苑の凡例を見ました。

見出し語 かなづかい

1・(前略)ただし、二語の連合語または同音の連呼によって生ずるヂ又はヅについては、これをすべてジ又はズで表し、(中略)この場合右に該当する仮名の下には<>で囲んで現代かなづかいを記した。

要するに、この辞書は、ミカヅキ(三日月)であろうが、チヂム(縮む)であろうが、便宜上すべての語をズとジを用いてミカヅキ、チヂムのように書き表すが、これはあくまでも便宜上の事であって、正しい書き方ではないので、正しい現代かなづかいは、<>で囲んで、表題の語でいえば、たず<づ>なのような書き方がしてあります、と云うことなのです。だから「手綱」はタヅナが正解という訳です。

扉にほど近い一隅で静かにたたずんでいる辞書の凡例達。つましやかな彼等のつぶやきにもう少し耳を傾けようではありませんか。

パソコン講座

パソコン価格も以前に比べ1/4～1/6位になり、1家に1台の時代が近づきつつあります。すでに点訳用に購入され活用されている方も多くみうけられます。そこで、現在のパソコンのOS(Operating System)に使われているMS-DOSについて、分かり易い解説書が入手出来ましたので、これを連載して行きたいと思います。

MS-DOSを畑仕事に置き換えて、懇切丁寧に説明がなされています。今後、点訳に関してさまざまなソフトが出てくるものと思われそうですが、パソコンの簡単な知識があるのと、ないのとでは使い勝手に差が出るものと思われそうです。

読まれましてわからない点がありましたら、ご遠慮なく、いつでもご質問下さい。

人には聞けない悩みも解消！
(自称) 中級者に贈る秘密の入門書。
そうか！ MS-DOSってこういうことだったんだ！

笑劇のマニュアル

楽しいMS-DOS
Ver. 1.20

Presented by K&K

本文中の各項目と目次で、語句の前についている印は

◎：最重要語句（これだけは絶対必要!!）

○：重要語句（覚えておくと便利!）

*：その他（雑誌などではよく出てくる言葉）

というようにしました。ご参考までに。

「パソコンを買ったのだが、MS-DOSというのがないと動かないとお店の人に言われ、渋々買ったのはいいのだけれどMS-DOSっていったい何なのかさっぱり分からない。フロッピーディスクもいると言うのでこれも買った（買わされた？）がフォーマットをしないと使えないと言われた。でもフォーマットって何なのか全然分からない。」

今の世の中パソコンくらい使えなければ社会人じゃないとまでいわれ、買ったのはいいけどこのような状況で、結局埃をかぶったままになっている、という方が多々いらっしゃるのではないのでしょうか。

……………こんな方々に捧げます。

◎フォーマットとは

買ったばかりのディスクは、言ってみれば耕していない荒地のようなものです。この荒地を耕す事により作物（ファイル）を植える事が出来ます。荒地を耕し畑にする作業の事を、「ディスクをフォーマット（初期化）する」と言う

のです。

この作業には“FORMAT”というコマンドを使用します。例えばBドライブのディスクをフォーマットしたい時は、

```
A>FORMAT B:
```

と入力しリターンキーを押します。フォーマット後にシステムを転送したい時は、

```
A>FORMAT B: /S
```

と入力します。ハードディスクをフォーマットしたい時は、

```
A>FORMAT /H
```

と入力して下さい。

FORMAT コマンドはDOSのバージョン（その項参照）が違っていると実行できませんので、使っているDOSと同じバージョンに入っているFORMAT コマンドを使って下さい。アプリケーションソフトに添付されているMS-DOSはほとんど Ver. 2.1 ですが、この中には入っているFORMAT コマンド（つまり Ver. 2.11 の）では Ver. 3.1 以上のMS-DOSで立ち上げた場合使う事が出来ないのです。

◎ ドライブとは

作物を作る畑です。

これにはフロッピーディスク（FD）型とハードディスク（HD）型、光磁気ディスク（MO）型、磁気テープ（MT）型、CD-ROM型などがあり、いろいろな広さを持っています。主に良く使われるのはFDドライブとHDドライブでしょう。

MS-DOSでは、複数のドライブにAから順番にB・C・D……と名前を付けて認識します。日電のデスクトップマシン（机の上におくタイプ）では前面に1ヶ所または2ヶ所のフロッピーディスクを入れる場所があると思います。ここをドライブ（FDD）と言い上から順番にAドライブ、Bドライブと呼んだりします。さらにHDが付くとCドライブとなったり、あるいは、AドライブをHDとして、FDDをBとCドライブに割り当てたりもします。これにさらに外付けのフロッピーディスク装置をつけるとDドライブとなります。

MS-DOSでは、この複数ある畑のどれかをいつも開いています。あるいは、その畑に「いる」と言うべきでしょうか。そして、その畑のことを「今いるドラ

イブ」と言う意味の「カレントドライブ」と言います。例えば画面の表示が

B:¥

となっていたらBドライブが現在のカレントドライブということになります。

◎ 2HD / 2DD とは

フロッピーディスク（FD）型の畑には、その容量（広さ）によっていくつかの種類があります。

フロッピーディスクには現在大きさ（見た目でわかる）で4種類（8インチ、5インチ、3.5インチ、2インチ）、記録できる量（見ただけではわからない）で5種類以上（2D、2DD、2HC、2HD、2EDなど）があります。一般的に使用されるのは5インチと3.5インチの2DDまたは2HDです。

2DDと2HDでは、見ただけではわからないと書きましたが、これはフロッピーディスクに塗ってある磁性体（フロッピーディスクはカセットテープとほぼ同じでフィルムの上に磁性体が塗ってあります。磁性体ですので磁石の類を近付けてはいけません）の密度が異なっているのです。つまり、一つの畑に細いあぜ路が引いてあって、ぎっしり作物を作れるのか、太いあぜ路や用水路やいろいろなものが大ざっぱに付いていて、少ししか作物が作れないかの違いです。

一般的に日電のマシンでは2DDの方は640KB（キロバイト、半角文字で64万字、IBM・マックでは720KB）記入でき、2HDは1.2MB（メガバイト、同120万字、IBM・マックでは1.44MB）記入できます。

フォーマットする場合は必ず2DDか2HDかを指定する必要があります。これを間違えるとディスクの読み書きが出来なくなる事があります。くれぐれも間違えないようにして下さい。

○ファイルとは

畑に植わっているニンジンやキュウリなどの作物だと思えばよいでしょう。（ここではそう理解して下さい）

AUTOEXEC. BAT
CONFIG. SYS
README. DOC
FORMAT. EXE

などがそうです。

ファイルの名前にはいくつかの決まりがありますので、ぜひ覚えておいて下さい。

1. ファイル名は半角 8 文字 + 拡張子 3 文字。

ファイルの名前は、半角文字（全角文字／半角文字の項参照）で 8 文字あるいは漢字・かな等の全角文字で 4 文字までが指定できます。また、その後にピリオドをはさんで拡張子（かくちょうし：その項参照）というものが付けられます。拡張子は半角で 3 文字（あるいは全角 1 文字 + 半角 1 文字）までが指定できます。

ファイル名に漢字を使うことは全くかまわないのですが、4 文字までだと情報量に限りがあります。また、ファイル名入力時にいちいち F E P（その項参照）を呼ばなければならず面倒ですし、もしもトラブルで F E P が使えなくなった時に困ってしまう可能性もありますから、あまりお勧めはしません。

2. ファイル名には、使ってはいけない文字や記号があります。

主ファイル名、拡張子いずれにも使ってはいけない記号

| < > . , * ? " : ; /

拡張子に使ってはいけない文字

PRN CON NUL AUX

*ボリュームラベルとは

畑の識別用の看板だと思って下さい。「この畑はだれだれの所有」というあれです。

通常の畑は役所（F A T）に不動産登記（ディレクトリエントリ）されていますからあえて看板を掲げる必要もないのですが、出しておけば何かの時に一目でわかるということで使用しています。

*セクタとは

畑に作物を植える最小単位の面積の事だと理解して下さい。例えばニンジン 1 本を植えるには 1 セクタの畑がいることになります。

* クラスタとは

セクタの集まったもの。2HDのディスクでは1セクタが1クラスタとなります。

フロッピーディスクのような小さい畑ではあまり問題になりませんが、ハードディスクのような大きい畑になるとこのクラスタは非常に重要な意味を持ちます。

ハードディスクのように大きな畑では管理をするのが非常に大変になるため管理の最小単位をある程度大きくしないとイケません。つまりニンジン1本1本を管理するのではなくニンジン16本とかゴボウ16本とかを1まとめにして管理するのです。(この管理するところをFATと言います) ファイルを管理する最小単位が1クラスタとなるのです。管理の最小単位ですので、本来ならばニンジンを1600本植えられるところに1本しか植えられてなくても、ハードディスクでは1600本分のスペースは確保してしまいます。つまり、たとえ1バイトのファイルを作ったとしても16Kバイトのスペースはどうしても必要ということになり、もしそのような小さいファイルをたくさん作ると、ハードディスクはどんどんその見かけ上の容量を減らしていく事となります。

ではなぜこのような無駄な事をしてしまうのかと言いますと、先ほども述べた通りハードディスクは非常に大きい畑を管理しなければならないため、あまり小さい単位で管理をすると管理をする側(FAT)が大きくなり、人件費がかさむためなのです。

管理する単位(これをクラスタサイズと言います)はハードディスクの大きさによって大体決まっており40MBのSASIハードディスク(ハードディスクの項参照)では1クラスタは16セクタとなり、100MBのSCSIハードディスク(ハードディスクの項参照)では1クラスタは4セクタとなります。(最近はこのクラスタサイズを変更するソフトも出てきています。)

一般にハードディスクの容量が大きくなればなるほどクラスタサイズも大きくなっていきます。

○ F A T (File Allocation Table) とは

畑のどこにどの作物が植えられているかを管理する管理台帳のようなものです。ファイルの名前、サイズ、作成日時、ディスクのどこに書いてあるか等の情報が書かれています。

ディスクの中では非常に重要な部分ですから、同じものを2つ作ってあり1つ

が壊れても別の1つが助けてくれるようになっていきます。

○領域確保とは

ハードディスクの場合フロッピーディスクと違い、フォーマットしただけでは使う事が出来ません。山林原野をブルドーザーでならした（フォーマットした）後、土地の基本台帳に登録しなければ新しい土地ができたことにはならないのと同じです。

台帳に登録する（領域確保を行なう）ことで、やっとそのディスクは使えるようになります。この時、どの様に新しい土地を区画割りするかで、いろいろな利用方法ができるわけです。2つの区画（パーティションと呼びます）に分けて、それぞれをAドライブ、Bドライブとしたり、あるいは、1つをMS-DOS用に、もう1つをBASIC用などに使い分けができるのです。

この作業の後、初めて作物の種を植える事ができるのだと思って下さい。

○領域解放とは

領域確保で区画割りをした1つの領域に対し、もう1度その領域を耕し直してしまうことです。つまり、土地の基本台帳を破棄する、あるいは、全く書き直すようなことに当たります。その領域に何が植えてあっても、それに関する記録は全く失われてしまいますから注意が必要です。

(つづく)

下調べ辞書 **追加データ** ニュース

ー操作方法は簡単です、ぜひ使って下さいー

河川名の入力が進んでいます。川の名前は他の固有名詞と同じく読みにくいものが多いです。それに「かわ」「がわ」とどちらなの発音か迷うことが多いです。今回登録を完了したのはその内、字画数が「1画と2画」で始まる河川名です。「一、乙、二、八、又……」が頭につく、おおよそ400河川です。順次登録してゆきますので、ぜひ、ご利用下さい

また、関西の「うまいもの店」の読み方もデータも入りました。電話番号も掲載されています。

◇地名

郡名／市区町村名／山名／河川名
／外国名／外国都市名

◇その他

元号名／年中行事／漢方医学関係
用語／植物名／鉱物名／四字熟語
／馬術用語／歴史用語／暦

◇人名

戦国人名／劇画家名／相撲人名／
天皇名／外国人名／現在の衆議院
議員名／現在の閣僚名／外国駐在
大使名

◎登録辞書（登録中も含む）

『河川よみかた辞典』日外アソシエーツ
『人物ファイル'93』樺山紘一ほか
『戦国人名辞典』高松年一ほか
『日本史用語の基礎知識』武光誠
『郵便番号簿』郵政省

◇その他固有名詞

駅名／

お知らせ

日外アソシエーツから、点訳ボランティアや録音ボランティア向けに、電子ブック版『20万語よみ方書き方辞典』『30万人よみ方書き方辞典』が発売されました。価格は各々9800円。この辞書を利用するにはSONYや松下電器などから発売されている電子ブックプレーヤーが必要です。

⊗

掲 示 板

⊗

- ・藤田さんより古文や漢文の読み方調べに便利な参考書類の寄贈がありました。読み方の基本や、読みにくい漢字や文章にルビが振ってあり便利です。どうぞ、ご利用下さい。

『新校萬葉集』澤寫久孝 佐伯梅友

『万葉集を読みなおす』古橋信孝

『徒然草全釈』松尾聡

『枕草子』浅尾芳之助 野村嗣男

『源氏物語』浅尾芳之助 野村嗣男

『奥の細道』中野博雄

『堤中納言物語精講』玉井幸助

『平家物語』佐々木八郎

『古今集』久保木哲夫

『新古今集』斎藤純

『今昔物語・宇治拾遺』小出光

『漢文の構造』赤塚忠 遠藤哲夫

- ・点訳ソフト「BE」がバージョンアップされました。

主な追加点は

- ・単語・短文登録
- ・自動目次作成
- ・自動表題紙作成
- ・ページ行全体移動
- ・文章の部分書き出し
- ・2級英語点字変換
- ・他のデータ形式の点字文章の読み込み
- ・英数／カナ／ローマ字入力による点字変換
- ・文節削除／復活
- ・インデント

主な機能強化点

- ・3万ページまで編集可能
 - ・ESC/Pプリンターへの対応
 - ・グラフィックス文章の結合／分割
 - ・DOS／Vでのグラフィックス編集
 - ・1ページ内でグラフィックス編集制限解除
- その他多数バージョンアップは有料です。詳しくは木村まで。

⊗

⊗